
死にたがる男

そこぬけ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死にたがる男

【Nコード】

N6553C

【作者名】

そこぬけ。

【あらすじ】

自殺願望の強い男の前に、一人の天使が現れた。彼は天使に言った。「すべての人間を道連れに！」と。

一人の自殺願望の強い男がいた。

彼は、彼女にふられ、友達の借金を負い、会社を解雇された。

一度にきてしまえば、誰だって死にたくなるものだ。

そんな不幸な彼を救うため、神が天使に言った。

神「彼を死なせるのは、かわいそうだ。お前の力で助けってやっくれ」

天使「神様のお願いなら、断れるわけありません。きっと救ってみせましょう」

天使が男のもとにやってきて言った。

天使「自殺なんて止めてください。かわりに1つだけ願いをかなえてあげますから」

男「誰だお前は・・・何、神の使いだって？それで願いを・・・ちよつと良かった。一人で死ぬのは怖かったから道連れが欲しかったんだ。世の中の人間すべて消してくれ。もちろん、俺も含めてだ」

天使「そんな！それは困ります！違うことを願ってください！」

男「俺は人間が大嫌いだ。いや、もはや人間とは呼べない愚かな生

き物だ。騙す奴、争う奴、殺す奴、嫌いになって当たり前だろ。みんな死んだほうが世の中のためだ！」

天使は悩んだが、神の意思は絶対である。

天使「仕方ありませんね・・・」

あの世で男が言う。

男「ふう、楽に死ねて助かったよ。だが、他の人間が見えないがどこだ」

天使「いえ、それが・・・」

男「約束が違うじゃないか！天使のくせに嘘をついたのか！！」

天使は重い口を開いて言った。

天使「あなたの言ったとおりでした。争いごとの耐えない今の世の中に、人間と呼べる人はいません。誰もが憎悪に満ちた形相を・・・
・・・あんなのを鬼と言うんでしょうね」

(後書き)

人間は生きながら鬼と化してしまうのですよ・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6553c/>

死にたがる男

2010年10月12日01時46分発行